

データシート

autocult

Wartburg-Mercedes 170V (GDR, 1956)

デザイナーと小さなシリーズ

scale 1/43

#05033

available

09/2020

limited edition 333 Stck.



## 新装の生き残り

いわゆる"鉄のカーテン"が第二次世界大戦後にも存在し続けていたため、1930年代から生き残っていた最後の車たちも新興の東ドイツでは徐々に廃れていき、国のシステムに都合のいい画一的モデルが国中に回るようになっていきました。乗用車では、1955年に最初に生産された2ストロークのヴァルトブルクがトップモデルになったことを意味しました。政治的要件や国の政策目標に関係なく、メルセデススタイル170 Vの最後のコピーもまだ使用されていました。社会主義化が進むにつれ、メルセデスモデルを所有することは、ステータスを誇示したいという人たちの尽きない欲求を満たすことになりました。

ゲルリッツにあるシュヴァルツェ家の家族経営の工場で、170 Vを完全に新しく組み立て直すことにより、2度目の命を与えるというアイデアが生まれました。多くの職人技と即席の技能を使って、ブリキ職人は170 Vの車体の前面をヴァルトブルク311の車体に取り付けました。メルセデスの独特なラジエーターを正確に統合させ

ることに最大の注意が払われ、長さが短くされました。今日でも、シュヴァルツェの従業員は、当時の限られた施設にもかかわらずこの統合を非常に巧妙に実現したということは確かです。メルセデス170 Vのオリジナルの1.7リッター4ストロークエンジンは、フロントフードの下で変わらず動きつづけました。ここでも、すでに何キロも走っていた老朽化したシュヴァーベンのドライブを活性化させるために、高度な工夫が必要だったかもしれません。38馬力、3,200 rpmで、西ドイツのエンジンは現代のヴァルトブルクエンジンと同じくらい強力でしたが、2サイクルではなく4サイクルでした。最高速度は110 km / hで、2台の乗用車のミックスは当時のドライビングバリューと完全に一致していました。1956年以降、個人的に改装され、主にゲルリッツのタクシー会社によって使用されました。

シュヴァルツェで最終的に何台のコピーが製造されたかは実際のところわかつていません。いくつかの文献に、20台とも、ほ

かの筋では少なくとも3ダースとも言われています。その民間改造車の生産期間は1960年初頭まで継続されました。

AutoCult GmbH  
Äußere Further Straße 3  
90530 Wendelstein  
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280  
ファックス +49 / 9129 / 296 4281  
info@autocult.de

[www.autocult-models.de](http://www.autocult-models.de)